

グループ作業の進め方(説明) (15分間)
アイスブレイク(自己紹介)

グループ作業 (約75分間)
グループ発表

休憩 (約10分間)

委員からひとつのこと(情報共有) (15分間)

今回グループ作業をモニター会議に盛り込んだ理由

「随時報告書式」になじんでいただく機会とする

随時報告書式

現状・実態(事実)

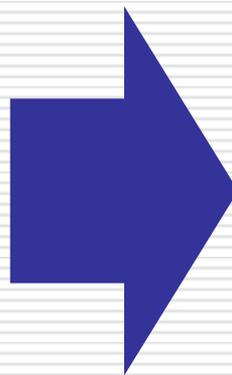
300字以内

課題・問題点

300字以内

意見・提言

300字以内



話し合いのテーマを
後程提示します。
グループで話し合いを
していただき、
「随時報告書式」に
書き込み、
発表をお願いします。

情報交換・交流のきっかけとしていただく

グループ作業の進め方

1. 役割分担を決定

グループリーダー(話し合いの進行役)

書記(最後に提出するシートに書き込む役)

タイムキーパー(時間管理役)

プレゼンター(発表役)

2. ふせんを全員に配布

3. 話し合い(約60分間)

全体の時間管理はこちらでします

4. 「随時報告書式」への記入

ふせんを使った話し合い

書く

～思いついたら迷わずに～

誰かの意見を聞いて、
思いついたら、書いてみる



5分

まとめる

随時報告書式に書き込む

15分

整理する

仲間を作る

- ・ひとりが内容を読み上げながら場に出す
- ・仲間と思われるカードを各自が読み上げながら場に出しグループ化する
- ※他人の意見を否定したり、批判しない
- ※無理に仲間にしようとするしない

並べ替えてみる

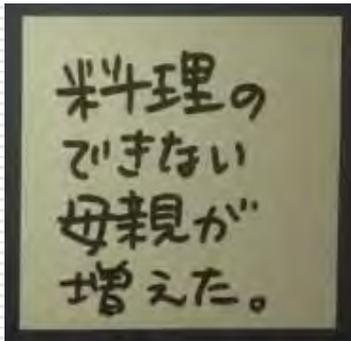
グループにタイトルをつける

40分

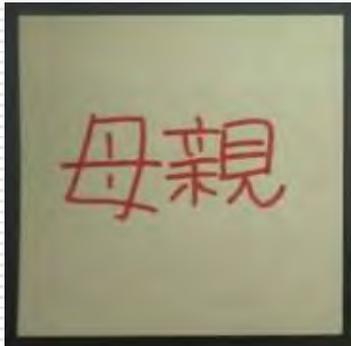
発表する

持ち時間は2分間！

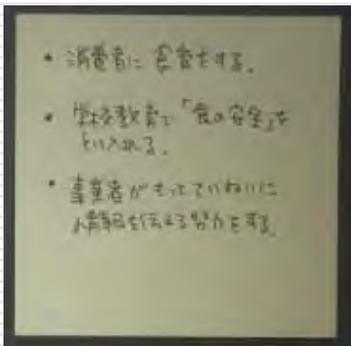
ふせんの使い方



- できれば太目のペンで
- 簡潔に見出しをつけるように
- でもできるだけ具体的に



× 意味不明



× 1枚に1つの事柄

× 細いペンだとみんなから見えない

話し合いの時に

- ◆ 問いに意識を集中して話し合しましょう
- ◆ ご自身の考えを積極的に話しましょう
- ◆ 話は短く、簡潔にお願いします
- ◆ 相手の話に耳を傾けましょう
- ◆ 様々なアイデアや意見の関係を考えて、アイデアをつなぎ合わせてみましょう(どんどん付箋を使ってください。)

話し合いのテーマ

◆委員講演に関連したテーマを設定

東京会場①/東京会場③/仙台会場

消費者、事業者、マスコミ等全ての人が、食品のリスクを正確に判断するために必要なことは何か。

東京会場②/大阪会場②

BSEについて、消費者からみた行政の問題点・課題は何か。

名古屋会場/大阪会場①

食中毒のリスクについて消費者はどう感じているか、どうすべきか。

岡山会場/福岡会場

環境汚染物質のように避けられないハザードと付き合うには、どのような対策が必要か。